

# 伝染環を遮断するトマト黄化葉巻病の総合防除対策

- 施設果菜類の虫媒ウイルス病の防除対策として、「入れない・増やさない・出さない」による総合防除対策を確立しました。
- トマトで伝染環が維持されるトマト黄化葉巻病ウイルスの伝染環を遮断することで、地域全体で虫媒ウイルス密度を低下させます。

**入れない対策**  
0.4mm目合防虫ネット  
(物理的侵入防止対策)

**入れない  
持ち込まない**  
(健全苗の定植)

**増やさない対策**  
(気門封鎖剤)

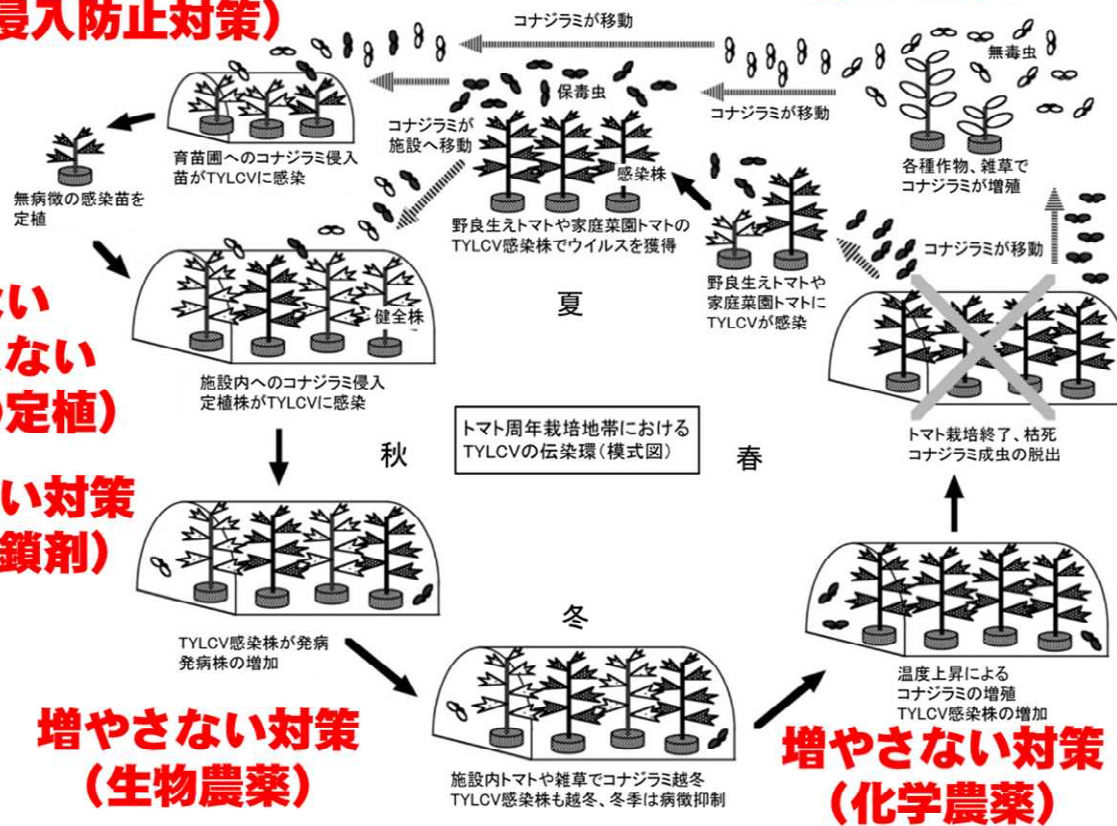
**増やさない対策**  
(生物農薬)

**野良生え  
トマトの管理**

**保毒虫を出さない  
(蒸し込み)**

トマト黄化葉巻病の多発を防ぐためには

- (1) 育苗・定植期の侵入・感染防止 (入れない)
- (2) 定植後の感染拡大防止 (増やさない)
- (3) 栽培終了時蒸し込み・残渣処理 (出さない)
- (4) 施設内外の雑草や野良生えトマトの管理
- (5) 抵抗性品種の利用 (防除は必要)



☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 野菜花き研究部門 企画連携室

TEL: 029-838-6575 FAX: 029-838-6673 Email: vf-koho@ml.affrc.go.jp